

清須市はるひ美術館 アートサポーター便り

平成 27 年 5 月 第 2 号

編集：清須市はるひ美術館アートサポーター 広報チーム

清須市第 8 回はるひ絵画トリエンナーレ 受賞者決まる！

大賞受賞の興津真紀子おきつまきこさんにインタビューしました。



- ◎ 絵を描くのは小さい時から好きでした。
中学校の若い先生に褒められ高校では美術部へ、
そして芸術系大学に進学しました。
- ◎ 清須市はるひ絵画トリエンナーレへの応募は今回で 4 回目です。
- ◎ 私の描きたいものは、透明感のあるものです。水・光・植物・
淡いもの……
- ◎ 理屈では説明できない「いいなあ」という感覚は私の制作の原動力です。
これからも大切にしていこうと思っています。
そして、次々と新しく変わって行きたいと思います。

興津さんは、作品と同様、透明感のある素敵な方でした。ありがとうございました。

〈審査会を見学して〉

今回は、国内外から過去最大の 506 名、1,021 点の作品が寄せられました。

1,000 点を越す作品をどのように審査していくのか興味津々。

体育館に 50 点位の作品が並べられて、そこを審査員が見て廻り、これと思う作品に付箋を貼っていきます。

付箋の付かなかった作品は、手際よく引き上げられ、付箋の付いた作品が残されます。それが一日目でした。

冬の体育館の中は、寒くて寒くて審査員の先生方も大変だなあと思いました。



アートサポーターは、清須市はるひ美術館の運営をサポートしながら、仲間たちと一緒に楽しくアートに親しんでいるボランティアグループです。イベント企画チーム・美術館運営チーム・広報チームに分かれ活動しています。今回はイベント企画チームの活動を紹介します。

■いろいろな世代の方々に「どうしたら、はるひ美術館に来ていただけるか」を考え、主催展示とは別に、楽しい企画を立てて開催していくことを目指しています。

昨年は 12 月にクリスマスに因んで「クリスマスソックスをつくろう！」、4 月末には折り紙、粘土、竹ひごを使った「鯉のぼりをつくろう！」を開催しました。